



写真：『春のよそおい』（撮影地：余呉湖周辺 滋賀県）（撮影：題佛 真覚実）

Withコロナ — 新型コロナウイルスとの併存 —

院長 伊奈 研次(老年内科)

新型コロナウイルス感染症との付き合いも、2019年の発生以来、年余にわたるものになりました。その主要株が2022年にオミクロン株に置き換わったことで、感染の中心が飲食の場から高齢者施設や病院・学校・保育所などの施設や家庭内感染へと変わってきました。

オミクロン株は感染力が非常に強い反面、死亡率や重症化率が低下したため、日本政府は、いよいよ感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方針に舵をきりました。そして、ご存知のように3月13日からマスクの着用は個人の判断に任せられ、5月8日には、新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザなどと同じ「5類感染症」に移行します。

しかし、高齢者の重症化リスクはあいかわらず高いですし、「5類感染症」になったからといって、ウイルス自体の感染力がさがらるわけでは全くありません。「2類感染症」ということで認められていた無料検査、無料診療などの特例がなくなる分、一層、わたしたちは、新型コロナウイルス感染症の特徴をよく理解し、自分の身を自分で守る必要があります。つまり、2023年は、新型コロナウイルスとの併存を図る「Withコロナ時代」が到来するというわけです。医療機関でも一般の診療とコロナ診療を同時に、並行して行うこととなります。

新型コロナウイルス感染症はエアロゾルまたは飛沫感染がメインなので、感染対策の重要なポイントは①換気です。部屋の換気に気を付け、いわゆる咳エチケットは守りたいものです。また②ワクチン接種についても、その感染予防効果は接種後月単位で減弱しますが、重症化を予防する効果はかなり長い期間、持続することがわかってきました。適切な感染対策をとっていただき、このWithコロナ時代を賢く、健康的に、毎日の生活をおくっていただきたいと思います。

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY

2023年4月1日発行 編集:患者サービス推進委員会 名古屋市天白区高宮町1302 新生会第一病院 TEL:(052)808-2100

(1)

けんこう
105号
百花

新生会
情報誌

IOSPY

嚥下・咀嚼機能の低下した方でも

"安全・安心でおいしい"食事を



臨床栄養科 管理栄養士 花田 牧葉

2022年5月より、「機能の維持・改善につながる食事形態」、「適切な栄養補給」「地域での食の連携」を目的に、当院の嚥下食の見直しと改定を行いましたので紹介します。

当院の新しい嚥下調整食



さまざまな工夫で、少しでも普通食に近づけ、
安全で美味しく食べていただける嚥下調整食に♪♪

食事の時間にラウンドし、患者さん一人一人の機能に合わせた食事が提供できているか、摂取状況をみたり、患者さんのお話を聞いたりして確認しています。また食事形態だけでなく、病気に合わせた適切な栄養補給が行えているかどうかの評価を毎週行い、必要に応じて嗜好にあわせたメニューにしたり、補助栄養剤をプラスしたりして栄養補給を行います。

やわらか食



食べ物を歯ぐきで
つぶすことができる方に

かたすぎず、箸やスプーンで切る
ことのできるやわらかさ。
パサつき・ばらけやすさ・はりつき
を少なく調整したもの。

(学会分類 2021 嚥下調整食 4)

きざみ食



食べ物を舌で
つぶすことができる方に

形はあり不均質であるが、べたつかず、まとまりやすく、離水が少ないもの。

(学会分類 2021 嚥下調整食 3)

ペースト食



飲み込む力が
弱くなっている方に

均質でなめらかなので、べたつかず、まとまりやすいもの。

(学会分類 2021 嚥下調整食 2-1)

ステップアップ!

ステップアップ!

■学会分類2021とは

病院や施設、在宅医療、福祉関係者など多くの方が共通して使用できるようつくられた分類。統一基準や統一名称があることで、食事内容が統一され、誤嚥のリスクを減らすことができます。

多職種チームでのサポート♪♪

言語聴覚士や認定看護師による嚥下リハビリや、歯科衛生士による口腔内のチェックとケア



医師や看護師、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士、事務員による『摂食嚥下口腔ケアチーム』のカンファレンスを定期的で開催し、院内の摂食嚥下に関する情報共有や、運用の見直しも行っていきます。





花粉症とかぜの違い

名古屋記念病院 耳鼻咽喉科 医師 高山仁美

花粉症とは

花粉症とは(季節性)アレルギー性鼻炎のことをいいます。

アレルギー性鼻炎とは、異物を体内に入れないための防御機構である、くしゃみ、鼻水、鼻づまりが病的かつ過剰に起こる病気です。体がある物質(花粉など)を異物と認めると、それから身をまもろうとして抗体が作られます。再び鼻から異物(抗原)が入ってくると、アレルギー反応(抗原抗体反応)を起こし、くしゃみ、鼻水、鼻づまりが発現します。抗原になりやすい物質は、ハウスダスト、ダニ、スギやヒノキを代表とする花粉、犬やネコなどのペット、カビなどです。その中でも花粉が原因で起こるアレルギー症状を花粉症と呼びます。

鼻症状以外にも目のかゆみやのどのかゆみ・違和感、皮膚のかゆみなどを起こすこともあります。

治療と予防

- ①花粉の排除: マスクやメガネ、うがい、洗濯物の部屋干し、帰宅した際に服についた花粉をおとしてから家の中に入るなどの工夫をしてください。
- ②投薬: 症状をコントロールするために内服薬、点鼻薬があります。抗原がわかれば注射や薬によるアレルギー免疫療法(減感作療法、舌下免疫療法)もあります。また、市販の点鼻薬は長期間の使用で逆に鼻づまりを悪化させてしまう薬剤性(点鼻薬性)鼻炎を起こす事がありますので使用量、使用期間には注意してください。
- ③レーザー治療: 鼻内の粘膜を医療用レーザーで焼き、アレルギー症状が起こりにくくします。

風邪(かぜ症候群)とは

かぜ症候群とは、主にウイルス感染によって上気道(鼻・のど(咽頭・喉頭))に起こる急性炎症の総称です。症状は、局所的にはくしゃみ、鼻水、鼻づまり、のどの痛み、せき、たん、声がれなどであり、全身的には発熱、頭痛、関節痛、さらに下痢、腹痛などの消化器症状を伴うこともあります。

風邪は自身の免疫力で自然に治ることが多いですが、こじれると気管・気管支炎、急性副鼻腔炎、急性中耳炎などの合併症をおこします。

治療と予防

- ・治療: 痛みや不快感な症状をやわらげる対症療法が中心
- ・予防: マスク、うがい手洗い、手指消毒

	アレルギー性鼻炎	風邪
主な原因	ホコリ、ダニ、花粉、ペットなど	ウイルス
かかりやすい時期	通年、もしくは花粉の飛ぶ時期	風邪の流行期
症状の続く期間	季節性は1~2ヶ月以上	1~2週間
症状	くしゃみ	多い
	鼻水・鼻汁	さらさら、透明
	鼻づまり	ある
	他の症状	寒気、発熱、のどの痛み、咳、痰、関節痛、声がれ、倦怠感、下痢症状など

参考文献: 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ホームページ

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY

2023年4月1日発行 編集:患者サービス推進委員会 名古屋市天白区高宮町1302 新生会第一病院 TEL:(052)808-2100

医師のご紹介 ~新任の医師を紹介します~



シャント外科担当 木曜日担当
北村 浩平先生

シャント外科の非常勤で赴任しました。よろしくお願いいたします



新生会第一病院の理念と基本方針

- (理念) 新生会第一病院は、地域が必要としている医療と、腎臓病・透析療法の専門的医療を提供し、人々から信頼される「アットホームな病院」をめざします。
- (基本方針) 1. 私たちは、患者さまの権利を尊重し、生命と人生を大切にし、患者さまに満足していただける医療の実践をめざします。
2. 私たちは、自らの成長をとおして、医療の質の向上をめざします。
3. 私たちは、保健、医療、介護、福祉機関相互の連携をはかり、地域に開かれた病院づくりをめざします。

患者さまの権利

- 個人の尊厳が守られる権利
一人の人間として、その人格、価値観などを尊重します。
- 医療を受ける権利
良質で適切な医療を公平に受けることができる権利を尊重します。
- 知る権利・学習する権利
病名や病状などの医療情報について十分な説明を受ける権利、また、病気や疾病予防、健康について学習する権利を尊重します。
- 自己決定の権利
緊急の場合を除き、治療方法などについて、自分自身の意思で選択、又は、拒否することができる権利を尊重します。
- プライバシー保護の権利
医療上の個人情報には十分に配慮される権利を尊重します。

患者さまの責務

- 情報を提供する責務
自分の健康や病気について、医療者にできるだけ正確に情報を提供する責務があります。
- 質問する責務
提示された医療行為の説明を、自分が理解できるまで質問する責務があります。
- 行動の責務
すべての患者さまが適切な医療を受けられるために、病院の定めた規則を守る責務があります。

新生会第一病院 外来診療体制表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
一般内科	午前	○	○	△	○	○	○
腎臓内科		○	○	△	△	○	○
整形外科・リウマチ科		○	○	△	○	△	○
糖尿病・内分泌内科	午後	○	○	△	○	○	△
シャント外科	予約制	○	○	○	○	○	○
リハビリテーション科	※	○	○	△	○	○	○

診療時間：

午前 9:00 ~ 12:00 (受付時間 8:30 ~ 11:30) /
午後 13:30 ~ 16:30 (受付時間 13:00 ~ 16:00)
(曜日、科により診療時間に変動あり)

◎糖尿病・内分泌内科の日に糖尿病栄養外来、
糖尿病看護外来を実施 ◎リウマチ相談窓口あり

※リハビリ実施時間：

午前 9:00 ~ 12:00 / 午後 13:00 ~ 16:00

人工透析内科：透析ベッド 100 床、午前の部、午後の部あり

新生会第一病院

住所 〒468-0031 名古屋市天白区高宮町1302

電話 (052) 808-2100 FAX (052) 808-3232

ホームページ <https://www.hospy.or.jp/shinseikai/>

※当院外来では、予約制を実施しております。(初診や急変した場合は予約がなくても受付めますのでお電話ください。また、予約の変更がしたい場合等は、電話にてお問い合わせください。)

